

愛は人の心を温める！
差別を直視し始めた直子は様々なことを学ぶ…

1995

同和教育映画

直子のブリーチ

企画 / 栃木県・栃木県教育委員会

製作 / 東映株式会社

上映時間
23分



東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-4-12 ☎03-3272-5191

FAX.03-3273-7949

ね ら い

中学生は、大人社会への準備期間といわれています。日常の詳細な出来事までその糧として、たとえそれがステップ・バイ・ステップであっても、個に目覚め、大人社会への自立準備を始める時期といえます。

この映画は、この段階の中学生・直子を主人公として彼女が同和問題を見聞、伝聞し、同和問題に関心を持ち、部落差別を許さない心を持った子どもに自己成長していく過程をドラマとして構成したものです。また、いじめ等の様々な差別を媒介にして部落差別の理解に近づき、その解消に努めなければならないことの大切さを訴えています。

20数分という限られた時間から、差別の根本の問題を鮮明に提起するにとどめ、視聴者皆さんとの学習・話し合いの材料として役立つものをねらいました。

あ ら す じ

6か月前に転校してきた直子（中学生）は、バレーボール部に所属し、明るく正義感に富む中学生。転勤の多い父親、遺跡の発掘を手伝う母親（良枝）の平均的な家族である。

転校生であるということもあって同級生とは違った扱いをされ、このところ悩みも多い。

秋深まる土曜日の午後のこと、級友の冷たい言葉にしおげて下校中、自転車で転倒し、救急車で病院に運ばれてしまう。入院中、直子の身の回りの世話をしてくれたのが可奈子（看護婦）で、その可奈子に姉のような親しみを覚え、家族同然の付き合いをすることになる。

退院後のある日、陶芸の里・益子への遠足で買ったブローチを贈ろうとした時、可奈子の秘密を知る。同和地区で育てられたということで結婚できなくなったという。

「ひどい人じゃない。そんな！ 許せない。」今までひとごとのように感じ、学校での同和教育にもさほど深い関心を持たなかった直子ではあるが、姉のように慕う可奈子の秘密を知って、ショックを受ける。

差別の実態を良枝から聞かされた直子は、「差別って、なんてひどい。」と、自分のことのように気づき始める。

良枝は可奈子を励ますため、遺跡の発掘で知り合ったリナの家を三人で訪れる。彼女は国際結婚で日本に来た女性である。明るい表情で、「今はとてもしあわせ。」と語るリナの姿をじかに見た直子は、あらためて可奈子にブローチを手渡す。

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎03-3272-5191
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎025-222-3091
関西営業所 大阪市北区曾根崎新地1-13-22 〒530 ☎06-345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730 ☎082-221-0505
高松出張所 高松市本町11-7 〒760 ☎0878-51-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街5-12 〒812 ☎092-473-8541
東北営業所 仙台市青葉区一番町4-2-10 〒980 ☎022-222-7613
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060 ☎011-231-1439



「やはり、とっておいて。いつかこれを胸につけて。」

「ありがとう。直子ちゃんのブローチ、きっと、つける。」

教材化の視点

- 1、直子の生き方、考え方の変容をとおして、部落差別解消に何が必要なことなのかを、それぞれの段階（小・中・高等学校や成人）に即して考えます。
- 2、差別されている人の立場やその人の心情（心の痛み）を理解し、望ましい人間関係をどのように築いていったらよいのかを考えます。
- 3、可奈子の苦悩する姿や母親と直子との会話をとおして、日常生活のなかで生ずる、様々な差別を生む要因を考えます。
- 4、性差別、外国人差別、高齢者問題、身障者問題など、身近な人権問題を国際的な視野からもとらえ、様々な人権問題解決の第一歩として、部落差別解消のために自分はどうしたらよいのかを考えます。

撮影協力

栃木県上三川町

栃木県がんセンター

栃木県上三川町教育委員会

栃木県文化振興事業団

スタッフ

プロデューサー……木村 滋 撮影……北川 英雄
脚本……塩見 鮎一郎 照明……田久保 剛
監督……山下秀雄 音楽……杉田 一夫

キャスト

小池直子……脇田麻衣子 (哲次の母) うね……阿部寿美子
(母親) 良枝……二木てるみ 直子の担任……中川 彰
可奈子……北原佐和子 学芸員……青柳文太郎
高橋リナ……ルビー・モレノ オカリナ奏者……小川 堅二
(夫) 哲次……森 篤夫

●お買い上げは……